学校番号	101

令和８年度　地理歴史科

教科	社会	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「高校日本史」（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す科目です。まずは、それぞれの時代の発展に応じて、法律・文化・宗教・政治制度が変化していくことを理解し、「なぜ」という問いを自分たちで考え、単なる知識として覚えるだけでなく、自分の行動や考え方などに応用できる力を養うことが大切です。

2　学習の到達目標

【①知識及び技能】日本の歴史事象を地理総合や歴史総合の知識を踏まえて総合的にとらえて理解する。日本の歴史に関する様々な情報を、諸資料を通して調べまとめる。
【②思考力・判断力・表現力等】歴史の事象や意義、文化の特徴や歴史にみられる課題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現する。
【③学びに向かう力人間性等】歴史に関わる諸事象について、広い視野にたってよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的条件や世界の歴史と関連づけながら日本の歴史を総合的にとらえて、理解している。日本の歴史に関する様々な情報を、諸資料を通して適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	歴史の事象や意義、文化の特色などを、年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察できる。歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて考察し、自分の考えを表現している。	歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。また、自国の文化を考えることを通して、他国の文化や多様な生き方を尊重する姿勢がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始・古代	・日本文化のあけぼの ・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開	a:原始から古代の日本の社会・政治・文化の特徴や変遷について、理解している。また、諸資料を通して大陸との関わりを調べ、理解を深めている。 b: 原始から古代の日本の社会・政治・文化の特徴や変遷、歴史的な課題について、地理的な要因や大陸(世界)との関わりのなかで、多面的・多角的に考察している。 c: 原始から古代の日本の社会・政治・文化の特徴や変遷、歴史的な課題を主体的に追及、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・資料のよみとりなどのワーク	・定期考査 ・各授業のテーマに対するレポート	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	中世	・院政と武士の進出 ・武家政権の成立 ・武家社会の成長	a:中世の重層的な支配構造が形成されるまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷について、理解している。また、諸資料を通して歴史事象や世界の歴史との関わりを調べ、理解を深めている。 b: 中世の重層的な支配構造が形成されるまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察している。 c: 中世の重層的な支配構造が形成されるまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、主体的に追及、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・資料のよみとりなどのワーク	・定期考査 ・各授業のテーマに対するレポート	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

2学期	近世	・近世の幕開け ・幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の動揺	a: 中世の重層的な支配構造から、全国政権が誕生する近世の社会が形成されるまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷について、理解している。また、諸資料を通して歴史事象や世界の歴史との関わりを調べ、理解を深めている。 b: 中世の重層的な支配構造から、全国政権が誕生する近世の社会が形成されるまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察している。 c: 中世の重層的な支配構造から、全国政権が誕生する近世の社会が形成されるまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、主体的に追及、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・資料のよみとりなどのワーク	・定期考査 ・各授業のテーマに対するレポート	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

	近代	・近世から近代へ ・近代国家の成立 ・近代国家の展開と国際関係 ・近代の産業と生活 ・恐慌と第二次世界大戦	a:地方分権的な要素を含む全国政権から、中央集権的な近代国家が誕生し、二度の世界大戦に突入する過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷について、理解している。また、諸資料を通して歴史事象や世界の歴史との関わりを調べ、理解を深めている。 b: 地方分権的な要素を含む全国政権から、中央集権的な近代国家が誕生し、二度の世界大戦に突入するまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察している。 c: 地方分権的な要素を含む全国政権から、中央集権的な近代国家が誕生し、二度の世界大戦に突入するまでの過程や、政治構造・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、主体的に追及、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・資料のよみとりなどのワーク	・定期考査 ・各授業のテーマに対するレポート	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

3学期	現代	・占領下の改革と主権の回復 ・55年体制と高度経済成長 ・現代の情勢	a:第二次世界大戦後の日本の占領下の社会や、その後のアメリカとの関係を背景とする政治体制・社会・文化の特徴や変遷について、理解している。また、諸資料を通して歴史事象や世界の歴史との関わりを調べ、理解を深めている。 b: 第二次世界大戦後の日本の占領下の社会や、その後のアメリカとの関係を背景とする政治体制・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察している。 c: 第二次世界大戦後の日本の占領下の社会や、その後のアメリカとの関係を背景とする政治体制・社会・文化の特徴や変遷、歴史的課題について、主体的に追及、解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・資料のよみとりなどのワーク	・定期考査 ・各授業のテーマに対するレポート	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度